

令和3年度「プログラミング技術」シラバス

|    |    |    |
|----|----|----|
| 校長 | 教頭 | 教頭 |
|    |    |    |

|     |           |     |           |     |            |
|-----|-----------|-----|-----------|-----|------------|
| 科目名 | プログラミング技術 |     |           | 教科名 | 工業（情報通信系列） |
| 学年  | 2年情報      | 単位数 | 2単位（70時間） |     |            |

1 科目「プログラミング技術」について

|         |  |
|---------|--|
| 学習の到達目標 | (1) OS（オペレーティングシステム）について理解させる。<br>(2) プログラムの記述・コンパイル・実行までの流れを理解させる。<br>(3) 流れ図について、その役割、ルールと使い方を理解させる。<br>(4) C言語の変数や制御文、配列などを理解させ、それを用いプログラムを作成させる。 |
| 使用教科書   | 7実教「工業333プログラミング技術」  |

2 科目全体の評価の観点の趣旨

| 関心・意欲・態度   | 思考・判断   | 技能・表現   | 知識・理解   |
|--|---|---|---|
| コンピュータプログラムの社会における重要性を理解し、その基本に関する知識・技術などについて関心を持ち、コンピュータプログラムという観点から技術の発展に貢献しようとする態度を身につけている。 | コンピュータプログラムに関する知識の適切な活用法を判断し、コンピュータプログラムに関する諸問題を目指して自ら思考を深め、創意工夫する能力を身につけている。 | コンピュータプログラムを適切に活用する技術を身につけ、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現できる。 | 社会におけるコンピュータプログラムの役割を理解し、コンピュータプログラムに関する基礎的な知識を身につける。 |
| 出席状況、提出物<br>学習態度、自己評価  | ペーパーテスト<br>観察力  | 発表表現能力<br>文章表現能力  | ペーパーテスト<br>レポート内容                                     |

3 観点別学習状況の評価の数量化

| 評価 | 内容                 | 判定基準    | 得点 |
|----|--------------------|---------|----|
| A  | 十分に理解できていると判断されるもの | 80%以上   | 3  |
| B  | おおむね満足できると判断されるもの  | 50%～79% | 2  |
| C  | 努力を要すると判断されるもの     | 50%未満   | 1  |

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り

| 評価内容                          | 100点法  | 5段階評価 |
|-------------------------------|--------|-------|
| 十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの | 100～80 | 5     |
| 十分満足できると判断されるもの               | 79～65  | 4     |
| おおむね満足できると判断されるもの             | 64～50  | 3     |
| 努力を要すると判断されるもの                | 49～35  | 2     |
| 努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの   | 34～0   | 1     |